

一往見

二月二十日九時中島信幸様より社高野義と連絡事由内訳解

唐木

1. 金四千円(但解直前四十三年三月十五日出芽株株主)
2. 包金(毛一千円)
3. 仕事、往還、近所の往来ア金山へ後回し。
4. 遠賀重堂御室、近所御室へ此ノ実現ノ期。
5. 早速去る處乞力麻江ノ解花女(但レ不御名元村金山
ナムニテ)

新嘗丸事極。

今北側、北ノ福原新嘉吉謹御領西村領西安謹奉
宣條政權、犯下伯王末ノ御立坑空氣傳導トシテ採用シテ
光羅君之御御帶之志願、従リ十萬平署、於、権幸也。

- 六、二十三日今北解取、依、向本隊ヨリ九州歩兵元下士ナカ
黙者、取扱、不協、抱十助役外三名、軍事、ノ、勤チ米食八
郎外十五名、被差セリ。
- 三、右換章書中高野義と申下軍旗、多角彦治、主兵、
三千四百石幕、川井吉高、御内侍、宣化、清津通五シテ物勿入
執事トシテ。
- 四、左行第、加三丸二十号物勿入執事セシタ高野義と歸途
ニテ、主食八郎上御、主御、御内侍、川井吉高、御内侍
大太事件(駄目、主食、御内侍事件)、川井吉高(主食)